



# 聖日礼拝プログラム

今週のみことは

司会者 渡邊貞雄師

ONLINE礼拝

もしたれかが、「なぜそんなことをするのかわからない」と言ったり、「主がお入り用なものです。すぐに、またここに返します」と言います。マルコ 一・三

讃美★新154	来れ友よ共にイエス	—	同
主の祈り		—	同
讃美★新256	御翼のもとに	—	同
交読詩篇	118:15~29	—	同
祈	禱		渡邊頼子師
聖書	マルコ11:1~11		司会者
説教	「子ろばに乗る主」		渡邊貞雄師
献金★新399	この身の生くるは	個人個人で	
頌新63	父、御子、御霊の	(起立) 一同	
祝	禱		★印。=全節朗読

報告 司会者  
 受=なし / 操=渡邊師 / A=なし / 報=牧師

〒515-0044 三重県松阪市久保町1445-7 COG 松阪キリスト教会  
 TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄  
 FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子



2022年3月6日 VOL. 45-10 No. 2366

URL <http://matukyo.com/>  
 Email [sadao@mctv.ne.jp](mailto:sadao@mctv.ne.jp)

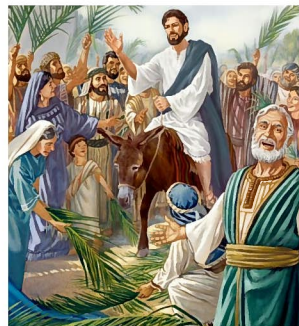
## ご報告・消息欄

- ▼ 年度末を迎え、教会やご家庭、個人のよきしめくりとなるように。
- ▼ ウクライナとロシアの紛争拡大で、揺れ動く国際社会の平和を祈ろう。「やめよ。知れ。わたしこそ神。わたしは国々の間で…あがめられる。」(詩篇46:10)
- ▼ 先週はオンラインで「教会総会」

- 来週礼拝マルコ12:41~44
- 主 題「レプタをささげた女性」

を行うことが出来ました。一部音声に不手際がありました。

- ▼ 三重県の「まん延防止措置」は、本日で解除です。もうしばらくオンライン(祈禱会と礼拝)を継続しつつ、状況を判断したいと願っています。



# にれ はみ

2022年2月27日  
聖日礼拝  
マルコ10:46~52  
「バルティマイの癒し」  
説教 渡邊貞雄 師



今日はバルティマイの癒しの出来事。

## I、道端に坐すバルティマイ

彼は道端に座っていた(46)。エリコには2つの町があった。もう一方のエリコに行くその時に起きた出会いだったようだ。エリコは死海北端から約8km北にある古い町、泉やオアシスが湧き、別名なつめやしの町、棕櫚の町とも呼ばれている豊かな所でした。

ここで彼は毎日、道端に座り生活の糧を得ていた。人の多いこの場所で、一日座ることによって生活をつないでいたのだろう。腰を上げることもなく座り込んで動かず、現状維持で苦闘しつつ生きる人生だったのだろうか。

## II、躍り上がったバルティマイ

彼は耳に届いた主イエスの名前を聞き「ダビデの子イエス様、私をあわれんでください」(47)と叫び始めました。周囲の者は制止したが(48)、「ますます叫んだ」(48)とある。

その結果、主はついに弟子たちに彼を「呼んでくるように命じられた」(49)。その時彼は「躍り上がってイエスのところに来た。また「上着を

脱ぎ捨て」(50)とあり、彼の唯一の所有物(?)である上着、過去の汚れた上着を投げ捨てたい衝撃に包まれたようだ。私たちも汚れと悲しみ、憎しみが染みこんだ上着を捨てて、呼んで下さるイエスのもとに近づこう。

## III、ついていくバルティマイ

主イエスは「さあ行きなさい」(52)と語られた。にもかかわらず彼は「イエスについていった」とある。多くの人は癒されると感謝をするでしょうが、主のもとから去ってしまう。しかし彼は我を忘れて「イエスについて行った」とある。

特に「道を進むイエスに」ついて行った。主はこの時、意を決して十字架の道に進む決意でおられた。そのイエスと知りつつも、なお同じ足跡を喜んで踏み進んで行ったのであった。

今日の交読は詩27篇。「わたしは一つのことを主に願った」(4)とある。反逆に遭い逃亡中のダビデは神殿に住み、主を深く思うことを切望したのであった。

